

## パネル展示・講座

# 震災の経験を撮り語り継ぐ

## —フォトボイス (PhotoVoice, 写真と声)

東日本大震災で被災した女性たちが、その後の生活や地域社会や防災・復興の課題、提案など、多様な視点で撮影した写真と声（メッセージ）を展示します。

**展示**：6月3日（月）13：00～

6月7日（金）15：00

パレットゾーン2F（学内外のどなたでも見学できます）

フォトボイス (PhotoVoice) は、1990年代初めにアメリカで開発された手法。社会的発言力の弱い立場の人々が自らの心情や経験、社会の課題を写真に撮り、「声」(Voice, メッセージ) もつくる。人権向上のための有効な手段として海外では広く実践されている。NPO 法人フォトボイス・プロジェクトは東日本大震災の女性支援に応用している。

（掲載写真は講座プレゼンター自身が撮影したものです。声は光沢紙に印刷して展示）

地震の傷あと  
NPO 事務局の玄関  
地震のときは3人がいました。  
ドアが開かなくなり外から壊してもらい脱出しました。ドアは直りました。でも内側の壁がそのままです。このあと壁紙を上から貼りました。



仙台の Y  
宮城県仙台市  
2012年11月 撮影



機能しなくなった  
防犯連絡所の外灯

来たのは蛙

EMI  
福島県田村市  
2016年8月 撮影

## 講座：震災の経験と防災を語り、若い世代に期待すること

6月7日（金）10：55～12：25 1255 教室

（「開発と健康の社会学」柘植授業時。この時間に他授業を履修していない学生は、この授業を履修してなくても聴講できます。）

プレゼンター **やはた えつこさん** (NPO 法人ハーティ仙台代表 助産師)

**佐々木 恵 美さん** (チャイルドバース・コーディネーター 福島から  
子どものために自力避難 4人の子の母)

（展示・講座とも）主催：明治学院大学社会学部 共催：NPO 法人フォトボイス・プロジェクト

（講座は Yahoo! 基金東日本大震災復興支援助成を受けています）